

町の生活情報紙
— IIDE PUBLIC RELATIONS —

広報 **いいで**

9

8, September
2011
Vol.1014

木と語り

木を見て

木を挽く

国際森林年特集

森林回帰

今こそ町の森林を見つめ直して

写真 / 地元産のスキを挽く渡部雄市さん。
有限会社渡部製材所 (小白川) にて
【関連記事 8 ページ】

高まる役割と静かな異変

宅地、道路、目の前に広がる田園風景を加えても、私たちの生活圏の土地の面積は、わずかに1割程度。飯豊町の総面積3万2960畝のうち8割以上は森林だ。美しい山々に囲まれた本町は、「森林王国」なのだ。

泰然とし、寡黙ながらも、森林は多くの恩恵を私たちにもたらしてくれている。

生命の源である水を蓄え、住居に必要な木材を供給し、山菜やきのこなどの林産物を恵んでくれる。山の土砂流出・崩壊は健全な森林によって防がれている。国土を保全するために国と県が指定して伐採や開発に制限を加える「保安林」は、本町に1万6592畝もある。

さらに地球温暖化問題に対する森林の役割は大きい。1997年、温室効果ガスの削減目標を定めた「京都議定書」が採択され、日本は90年比で08年〜12年の間に6割の削減を世界と約束。政府は、そのうち約3割にあたる3・8割を国内の森林による二酸化炭素(CO₂)吸収によって確保するとしている。だが、東日本大震災に端を発した原子力発電所事故を受け、日本は今、原子力に比べCO₂排出量の多

国際森林年特集



森林回帰

今こそ町の森林を見つめ直して

森林は、国土を守り、水を蓄え、二酸化炭素を酸素に変えてくれる。これだけでも森林が、私たちにとってどれほど重要かがわかる。しかし、近年の林業の衰退と農山村の人口減少で森林と人との関係が希薄化し、森林に静かな異変が起きはじめています。折りしも今年は、国際連合が提唱する「国際森林年」の年。人類の生存に欠かせない森林の役割を見直し、持続可能な森林の開発の推進を国連は訴える。町の森林の現状はどうなっているのか、現場に携わる人たち取材し、課題や将来の展望などを探った。

い火力発電所に依存する状況が続き、その達成が危ぶまれている。以前にも増して森林への依存度は高まるばかりだ。

そして、その森林に今、静かな異変が起きている。

1つが森林の荒廃。林業の衰退や農山村の人口減少・高齢化などの理由に加え、薪・炭から灯油・ガスへと生活の燃料が変化を遂げ、森林の利活用が大きく減ったことで人が森林に入らなくなり、荒廃が続いているとされる。

人工林の増加という変化も無視できない。人工林とは木材利用を目的に人が造りだした森林。戦後に植林された木が、今、成長を遂げ伐採期を迎えながらも、木材価格の低迷、林業従事者の高齢化、担い手不足などの理由から、伐採できずに増え続けているのだ。70年の人工林の面積は3364ha。35年後の05年には8845haと2.5倍以上に増えている。成長した木を伐採し、そこへ次の若い木を植えなければ、健全な森林になるための循環を維持することができなくなる。

森林に回帰し、人と森林との関係を取り戻すべき時代を迎えている。そのためにはどうしたらよいか、次ページから一緒に探っていきたい。

■町の土地区分別面積（平成20年）



■町の人工林と天然林の面積の変化



現場取材
 ON-THE-SPOT COVERAGE

林業の現場を訪ねて

山で働く人たちがいるからこそ 森林は守られている



高峰地内の人工林で成長したスギの木を眺める渡部功さん(左・萩生)、樋口勝典さん(中央・同)、齋藤富美男さん(右・同)。3人は下刈り作業に追われていた

林業は宝を守る仕事

ひとたび町道から外れ、車で山道に入ると、途端に悪路となり道幅も狭くなっていく。勾配のある上り坂は4輪駆動を使わなければ、登ることができなかつた。眼下の沢に落ちないようゆっくり、慎重にハンドルを切る。行き順に迷い、ひとたび車を停車すれば、アブたちが羽音をたてて集まってきた。

ようやく作業道の終点にたどり着くと、そこには膝丈ほどの愛らしい無数のスギの木が植えられて広がっていた。ここは、高峰地内にあるスギの造林団地だ。

草刈機の機械音が、セミの鳴き声のように四方から聞こえてくる。樋口勝典さん(萩生)をリーダーとする林業従事者のグループが下刈り作業に追われていたのだ。

団地の広さはおよそ30ヘクタール。独立行政法人森林総合研究所による造林事業である。西置賜ふるさと森林組合が業務委託を受け、樋口さんをはじめ組合員約10人で下刈り作業を2カ月間かけてこなす。

林業従事者の現場は町内だけとは限らない。財団法人山

形県林業公社や市町などの分収林の造林事業などもあり、置賜一円の花々が現場となる。いづれも森林組合を通して仕事が入り、常に5人程度のグループを組んで作業に当たる。樋口さんたちは昨年、米沢市内の山のナラ枯れ駆除の仕事にも当たった。

樋口さんは昭和11年生まれの75歳。26歳から林業に就き、半世紀近く山と共に生きてきた。「木を育てる仕事は、明日、明後日のお金のことを考えていてはできない仕事」と樋口さんは言い切る。そして造林の仕事の流れを説明してくれた。

「苗木を植え付けてから6年間は毎年下刈りが必要。それから5年間かけて枝打ちし、さらに20年かけて育ちのいい木だけを残すために間伐をし、5、6年後に太さのそろった木にそろえるためにまた間伐する。そして林齢が50年に達したところ、主伐されて木材になるんだよ」

結果を急ぐ現代社会において、造林が気の遠くなる独特の仕事だとわかる。

「あの辺のスギはもう50年近く経っている」

樋口さんの指差す方を見る

と見上げるような背の高いスギが林立している。

「もう主伐してもいいころなんだが、あと30年延ばして林齢80年で切ることに計画が変わったようだ」と教えてくれた。このように人工林は、時代の状況に翻弄され、主伐されず、少しずつ面積が増え続けてきた。木材価格が好転せず、スギは切られずに残されてきたのだ。

その一方で、林業従事者は高齢化し、数は激減している。朝鮮戦争特需で国内経済が活況に沸いた昭和25年から昭和35年にかけてが林業にとって最盛期だった。町内で林業従事者の数が最も多かったのは昭和30年で466人。木材価格は昭和55年にピークを迎えるが、その後需要が減少し、価格は今も低迷を続けている。その動きに合わせるようにして、平成17年の林業従業者数は、わずか28人と数えるほどにまで減ってしまっていた。

林業の仕事は厳しい。急斜面で足場の悪い現場が多く、チェーンソーや草刈機などの操作は、注意を怠れば大けがにつながる。木の伐倒も見誤れば、下敷きになりかねない。「夏場の作業で最も厄介な

※【分収林】 森林所有者、造林・保育を行う者、費用負担者の3者またはいずれか2者で分収林契約を結び、造林・保育したのち伐採して、その収益を分け合う森林



造林団地での下刈り作業の様子

「山の空気はとつてもうまい。こんなに気持ちよく仕事ができるのはほかにないよ」と樋口さんは澄んだ空気を胸いっぱい吸い込んだ。70歳代になっても元気に仕事をこなせる理由がわかるような気がした。

「それに」と樋口さんは言葉をつなげる。「山は人々の宝。それを守る林業の仕事は誇りだと思う」。

そう言つて樋口さんは、下刈りされた草の中から姿を現した若いスギの木をいとおしそうに見つめた。

■人工林のサイクル

植え付けから主伐までのサイクルはおよそ35～50年。長いものでは100年近く管理を必要とするものもある。



■町の林業就業人口の推移

昭和15年	309人
昭和22年	343人
昭和25年	315人
昭和30年	466人
昭和35年	423人
昭和40年	147人
昭和45年	91人
昭和50年	50人
昭和55年	136人
昭和60年	65人
平成2年	81人
平成7年	46人
平成12年	43人
平成17年	28人

資料：国勢調査

■町内林業従事者の年齢構成

65歳以上	13人
60～64歳	4人
50～59歳	3人
40～49歳	4人
30～39歳	2人
29歳以下	2人
合計	28人

※平成23年8月末日現在、西置賜ふるさと森林組合から作業委託を受け、林業に従事した方の数に基づき表を作成

INTERVIEW

西置賜ふるさと森林組合 井上律雄販売課長に聞く

今、林業が変化を遂げている



西置賜ふるさと森林組合販売課長

井上律雄さん

(高峰在住)

機械化で作業の効率化を実現

雇用の創出として林業が注目されています。実際、林業従事者は高齢化し、プロの職人の育成が急がれています。一般的に林業は危険で重労働というイメージがあり、若者に

とって魅力的な職業とは言い難いものでした。しかし、近年になり林業の現場は変化を遂げています。

今年1月、森林組合ではプロセッサと呼ばれる高性能林業機械を導入しました。キャビン内のレバーとボタン操作で、伐採した木の“枝払い”と切断の“玉切り”まで機械がこなしてくれます。機械化によって作業の安全確保、労力軽減、低コストが実現しました。

さらに森林組合では、林野庁の「緑の雇用」事業を活用し、20歳代の若者2名を雇用しています。そのうち1名は町内の若者です。林業の仕事に懸命に打ち込む姿は、将来への頼もしさを感じます。

林業がさらに魅力ある職業になる



西置賜ふるさと森林組合◎1999年4月、飯豊町、長井市、白鷹町の各森林組合が合併し発足。組合員数は約2,200人。うち飯豊町の組合員数は約720人。森林造成事業に取り組みほか、特用林産物販売、樹木の病害虫防除、林家家の経営指導など林業に関連する多様な業務を担う

ためには、1年間を通して安定した仕事があることも必要です。伐採期を迎えた人工林のスギを木材としてどんどんと市場に流通させて林業の活性化を図り、さらに伐採後の山に植え付けして森林の循環を促し、仕事をつくり出すことが必要です。

今の林業現場で起きている問題の1つに、山林所有者がわからなかったり、土地の境界が不明確なケースが多発していることがあります。造林事業の推進のためには克服しなければならない課題であり、行政の指導と支援が不可欠です。

山林所有者のみならず、町民の皆さんに広く森林の多面的な役割に関心をもっていただき、林業の活性化にご協力いただければ幸いです。

レポート
REPORT

誰が森林を守るのか

森林の荒廃を防ぐために 私たちにできることは何かを探る

ナラ枯れのために伐採されて積まれたナラの木。多くの山林で見られる光景となっている

森林の抱える悩み

山の一部が赤茶けて見えるのは、季節はずれの紅葉ではない。ナラ枯れだ。ナラやシイ、カシなどの広葉樹が、カシノナガキタイムシがもたらした病原菌で枯死したのだ。

8月11日、林野庁は昨年のナラ枯れ被害は、全国で32万5千立方メートルに上り、過去最悪となったことを発表した。とりわけ山形県は、民有林が5万5千立方メートル、国有林は約1万2千立方メートルと共に都道府県別で最多の被害面積だった。

本町においても平成19年から22年9月末日にかけて4万817本の集団ナラ枯れが確認されている。

直接的な原因は、虫による病原菌だが、「樹齢の高い木が増えたことで被害が広がった」とする指摘もある。すなわち、薪や炭への利用が減ったためにナラが伐採されず、虫が生息に好む年老いた太い木が森林に増えたからだ。

町や県、森林組合などが連携し、保全すべき重要なナラ林を中心に、幹への殺菌剤注入、伐採処理などの対策を急いでいる。

森林の抱えている悩みは、

ナラ枯れだけではない。

その1つに森林所有者間の境界が不明確になっている問題がある。その理由として、町が実施する地籍調査が山林部で進んでいない現状がある。日常的に関わりの深い宅地や田畑に比べて、山林はどうしても後手に回りやすい。さらに所有者の森林に対する関心の低下も理由としては大きい。木材価格の低迷や土地としての資産価値の低さなどから経済的なメリットを感じられず、所有する山林に目が向かなくなったのだ。境界の不明確は造林事業を進める上で、大きな支障となっている。

森林への関心の低下に関連して、相続されずにいる山林の土地の増加も懸念されている。すなわち森林の所有者が誰かわからなくなっているのだ。多くの場合、先の所有者が死亡し、その相続者であるべき人が土地の所有権移転登記をせずに放置してきたことにある。その状態が永代と続き、血族が多数に枝分かれし、相続がもはや困難な状況に陥っている。山林に課税する固定資産税においても相続者がわからないために通知できないものが存在している。税

の公平性の観点からも深刻な問題だ。

さらに「何にもならない山のために固定資産税を毎年払い続けるのは重荷だ。山を処分したい」との相談が、近年町に多く寄せられている。森林を手放したいと考える所有者が増加しているのだ。

そこから派生し、問題となっているのは、外国資本による森林買収の問題である。水源地を持つ森林が買収されれば、ふもとで暮らす住民の水の確保に影響が出ることは必死である。森林は、国土保全の意味からも重要であり、県は森林取得に関する条例化の検討を進めている。

そんな中で、「みんなで森林を守ろう」という動きが広がりがつつある。

私たちの身近なところでは、「やまがた緑環境税」がある。「県民みんなで支える新たな森づくり」を掲げ、森林整備や民間団体の森林保護活動の支援などに充てられる税金だ。県民税を納める個人・法人に課税されている。個人の場合は年額1000円。県は、「やまがた緑環境税」を活用し、10年間で約1万2千畝の森林整備を目指す。



INTERVIEW

添川小校長に聞く“緑と触れ合う教育の実践”

添川小学校が取り組む 「緑の少年団」・「ぼくの木わたしの木」

渡部 恭子 校長

(黒沢在住)

緑を守り、育てる気持ちを養う

本校の児童は、2年生以上から「ぼくの木わたしの木」を、さらに3年生から「緑の少年団」活動に取り組んでいます。

「ぼくの木わたしの木」は、平成7年から始まった活動です。児童は校庭にある樹木を1本選んで「木のオーナー」となり、追肥・除草などの世話を卒業するまで続けていきます。樹木への思いを深め、大切に育てる気持ちを養うことが目的です。

一方、「緑の少年団」は、学校創立120周年を記念し、平成5年に結成されました。添川財産区のご厚意で、財産区内に学校林を設け、そこで財産区や西置賜ふるさと森林組合、町の方々のご指導の下、下草刈りや追肥作業、キノコの菌打ちなど、普段の生活ではなかなかできない体験をし、



今年5月に行われた緑の少年団活動の様子。児童たちは、添川財産区内に設けられた学校林でキノコの菌打ちなどを体験した

学んでいます。そこには、自然に愛情を注ぎながらも、安全に留意して真剣に活動する子どもたちの姿が見られます。緑の少年団活動を通して児童たちは、地域の人たちが抱く地元の山や木、自然に対する思いを学び取っています。また、ほかの地区の緑の少年団とも交流を広げ深めています。

子どもたちが緑と触れ合うことは、「環境」を直接肌で感じ、緑を守り育てようという優しい気持ちが芽生え、環境保護の意識が育つと考えます。

子どもたちには将来にわたり、自然の「生」または「命」というものの素晴らしさと美しさ、そしてそれらを守り、生み出すものは、自分たちであり、仲間との協力によって築かれるものであることを忘れないでいて欲しいと願っています。

添川小学校◎明治6年創立。8月末日現在の児童数は55名。教育目標に「心の豊かな子ども」「進んで学ぶ子ども」「たくましい子ども」を掲げ、積極的なあいさつで明るい学校づくりを目指す。また、優しい心を育む「セカンドステップ」授業を実践している



「ぼくの木・わたしの木」で選んだ木へ児童たちは手紙を書いた。手紙からは、木に対する温かいまなざしが伺える

また、県とやまがた公益の森づくりセンターが事業主体となつて昨年6月からスタートした「絆の森貯金通帳」制度は、個人または家族単位で気軽に森林保護活動に参加できるきっかけづくりになっている。森林との関わりを深めようとしているのは、地域の人たちばかりではない。東京に本社を置く日本通運株式会社と

キヤノンマーケティングジャパン株式会社は、中津川財産区で社会貢献事業として森林保護活動を展開している。そのうち日本通運(株)は、「日通の森」森林育成の協定を町、中津川財産区と結び、約70畝の森づくりに汗を流している。置賜総合支庁森林整備課の石垣克典室長は、森づくりについてこう話す。

「水、空気、癒し効果など、森林の恩恵はみんなが受けています。林業従事者、森林所有者だけでなく、山林の維持管理の苦勞を一緒に分かち合う精神が必要です。それを理解することから森づくりは始まるのではないのでしょうか」また、町産業振興課農林整備室の齋藤浩室長は林業の活性化の必要性を指摘する。

「所有者が山林への関心が薄れている傾向があるのは残念なこと。林業を活性化させ、森林の価値を高めていくことが必要だと思います。そのために町では、林道や作業道の整備にこれからも力を入れていきたい」と意気込む。森林を守るためには、みんなの力を合わせる以外に策はないのだ。

CLOSE-UP

森づくりも小さな1歩から『絆の森貯金通帳』



苗木1本あたりの植え付けでCO₂貯金量は2kg-CO₂、枝打ちは10㎡の作業量で5kg-CO₂。

「絆の森貯金通帳」は、森づくりの作業内容に応じて、森林が吸収するCO₂(二酸化炭素)量に置き換え、それが貯金量となって加算されていく仕組みだ。

山形県とやまがた公益の森づくりセンターが事業主体となり、昨年6月から事業がスタート。目的は、森林ボランティア活動への関心と意欲を高め、県民みんなで支える森づくりを推進することにある。今年7月末日現在で約3,400名が参加し、約28,000kg

のCO₂が削減されたと県は計算する。そのうち本町にある「山形県源流の森」では、約1,600名が活動し、約15,000kgが削減できた。一人一人の量は小さくとも、多くの力が集まれば、森づくりとCO₂削減に大きく貢献できることがわかる。

ボランティア活動内容は、県が認定したものに限られ、貯金通帳は源流の森で交付する。

◎山形県源流の森センター ☎77-2077



CO₂貯金量が貯まると、右のような景品と引き換えができる



現場取材
 ON-THE-SPOT COVERAGE

木材の消費拡大を目指して

有限会社渡部製材所(小白川)からレポート

林業には、多くの人が結びついている

木と製材へのこだわり

渡部辰雄さんは高校を卒業し、すぐに林業に就いた。早くに父を亡くし、山からの木の切り出しや原木の挽き方は、手伝いの人たちや母親の姿を見て懸命に覚えた。「右も左もわからず仕事は厳しかった。でも、あのころは林業に活気があった」と仕事に就いたばかりの昭和40年代を振り返る。昭和51年、24歳の若さで渡部製材所を創業する。製材は、自分に合った仕事だと、渡部さんは実感したからだ。

10年ほど前から生産コストを考えて、山からの木の切り出しをやめ、製材に専念。仕入れる原木の9割は置賜地方で育った木だ。大半は冬のうちに購入する。冬の木は含んでいる水分が少ないうえ、虫も多いからだ。さらにまつすぐで加工しやすい林齢80年のものを選ぶ。

「加えて大事なものは、枝打ちなど、人の手をしっかりかけて育てられた木であること」と渡部さんは言い切る。手間をかけて育てたものが良質なのは、農産物と同じだ。仕入れる原木の量は、去年



渡部辰雄代表取締役

の販売実績を参考に決めて決める。冬の内には大半を仕入れるため、「先行投資型で必ずしも製材した分、すべてが売れるとは限らない」と渡部さんは経営の難しさを話す。建築現場で使われる角材のサイズも多種にわたり、常に注文に応えられるように製品をそろえておかなければならない。木の種類による注文もある。人気のあるケヤキなど地元で調達しにくい木材は、県外から取り寄せる。

「スピード感がないと製材所間の競争に残れない」と渡部さんは話す。電話一本あれば、すぐに大型トラックに製品を積み込み、お客さまの元へ届ける。

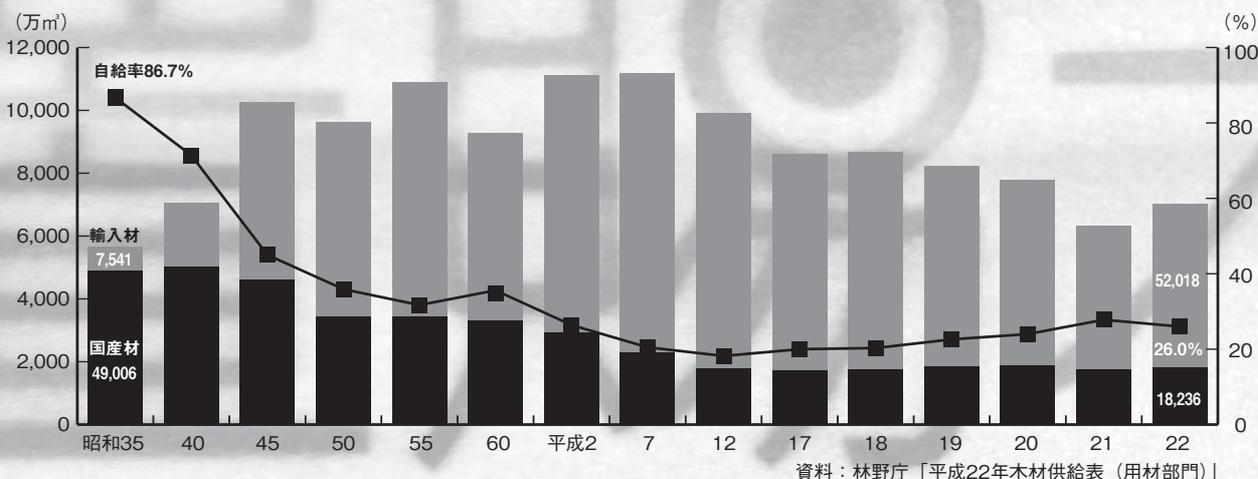
渡部さんによると置賜地方にある製材所は約20社ほど。その数は減っており、本来の製材をやめ、建築資材の販売に特化するところも出てきたという。

渡部さんは職人として「木



①「台車」と呼ばれる機械にのせられたスギの原木。ここから製材が始まる
 ②台車に付帯するノコギリが無駄なく原木を切り分けていく ③次は「テーブル」と呼ばれる機械にかけ、目的の角材の大きさにまで挽いていく ④挽き終えた木材は、含水率18%程度まで乾燥させ、初めて製品となる

国内における木材供給量の推移



山形県内における木材生産などの状況(平成20年)

県産木材の供給量	309千m³
県産木材製品の生産量	71千m³
県産木材製品の県内消費量	39千m³
乾燥材の生産量	9千m³

資料：山形県「第2次山形県森林整備長期計画」

を挽く」ことにこだわる。「製材はただ切るだけの仕事ではない。その木の持つ良さや美しさなどを最大限に引き出し、1本の原木から無駄なく製品を作り出さなければならぬ」

そこには熟練の技術が求められる。すべて同じように見える木も、人に個性があるように、林齢、産地などによって形状や固さなどが異なり、一本一本の特徴を見極めて、挽かなければならない。

調達した原木は半月から1カ月程度置いて乾燥させ、製材にかける。製材された木材はさらに専門の業者に依頼し、人工乾燥させる。建築資材には、含水率18%以下の基準があり、水分をたくさん含んでいると乾燥によって変形や収縮、割れなどが生じ、建築構

造上不具合が出るため、特に厳格に扱われる。

日本の木材の自給率は20%代で低迷を続けている。国は、平成21年に策定した「森林・林業再生プラン」で、10年後の木材自給率を50%以上に掲げる。それには地場産木材の積極的な利用が欠かせない。

平成17年、『置賜「地材地住」ネットワーク』が組織された。「地材地住」とは、地場産木材を使って、地元の家を建て、そこに住むという造語。森林組合、森林所有者、製材所、工務店などが、ネットワークの会員となっている。

「林業の裾野は広い。林業従事者、製材所、工務店など多くの人が結びついている。特定の分野だけが儲かろうという発想では、林業は盛り上がりがない。みんなで連携し、みんなで地場産木材で地元の経済を活性化させようという気持ちが大切」と渡部さんは力説する。

作業所では息子の雄市さんが黙々と仕事を流していた。「後を継ぐと言われたときは、『本当にいいのか』と思わず確かめた」と渡部さん。木を愛し、木にこだわる職人の頬が緩んだ。

木造建築伝承の匠が語る

地場産木材で建てた家の魅力

飯豊町建設組合顧問
 有限会社小池建築代表取締役

小池忠三さん (添川在住)

Shoike Chuzo



こいけ・ちゅうぞう©1937年2月生まれ。
 17歳から家業である大工の道に進む。父が
 44年に創業した「小池大工」を継ぎ、78年
 「小池建築」に改名、01年有限会社となる。
 優れた木造建築の技能を有し、後継者育成
 に努めた功績により、昨年11月、山形県知
 事より「木造建築伝承の匠」を受賞。現在、
 町商工会副会長も務め、町の商工業発展に
 も尽力する。趣味は盆栽と畑

74歳の今も、現役の大工として活躍する小池忠三さん。長年の研鑽によって磨かれた建築技術により山形県から「木造建築伝承の匠」の受賞を受けている。匠から地場産木材を使った家の魅力などを伺った。

——大工にとって、木造建築にはどんな魅力があるのでしょうか？

小池 木材を組み合わせて家の構造を作り上げていく工程は大工の腕の見せ所であり、上棟までの骨組みには、職人の技術がはつきりと現れます。私が大工になったところは、釘などの金具を使わず、木材を自前で加工し、巧に組み合わせで建てていました。金具を使わずとも丈夫な家を作れたのは、先人たちが築いた知恵と技術の継承にあり、日本の伝統文化の一つと言えると 생각합니다。

——東日本大震災を受け、家屋の耐震性が家を建てる人にとって重要なポイントになっています。木造住宅の耐震性はどのようなのでしょうか？

小池 瓦屋根の場合、揺れによって瓦が動き、屋根の重みが片寄って、家の構造が歪んでしまうことがあります。しかし、置賜地方に多い金属屋根の場合、揺れに対して重心は安定しているとされています。

す。また、最近の新築の家は、かなり耐震構造の設計が進んでいます。

——地場産木材で家を建てるメリットはどこなところにあるのでしょうか？

小池 地元の木材の大半はスギです。スギは、家の構造の要となる柱や梁などによく使われます。山形県のような雪国で育ったスギは、冬の寒さで木が引き締まり、芯まで固く、丈夫な木材となります。木が丈夫ということは、すなわち長持ちする家が建つということになります。

また、県産木材を使用した住宅建築に対し、町から補助金が出るのもお客さまにとってメリットだと思います。飯豊町は県内の他市町村に比べて高額な補助金を出している町です。ぜひ活用したいものです。

——建築用材において、地場産木材は輸入木材に対し劣勢な状況にあるのでしょうか？
 小池 ここ10年の間で、地場産木材と輸入木材の価格差が

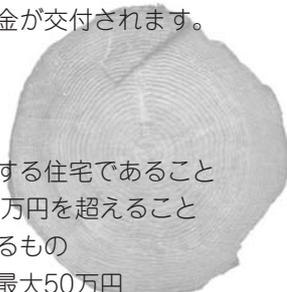
町・県が実施する 地場産木材 利用促進のための取り組み



①飯豊町木材製品利用住宅建築奨励助成金

新築住宅に県内産木材を使用すると補助金が交付されます。

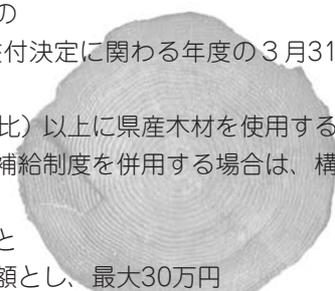
- 対象建築物／下記の条件を満たすもの
 - 県内産木材を一部使用すること
 - 町内建築業者が施工すること
 - 助成金の交付を受けようとする方が居住する住宅であること
 - 使用する県内産木材の木材製品の額が30万円を超えること
 - 主要部材の組立て施工が年度内に完了するもの
- 補助金の上限／対象経費の1/2の額とし、最大50万円



②飯豊町県産認証材利用助成金

住宅構造材に県内産木材を使用すると補助金が交付されます。

- 対象建築物／下記の条件を満たすもの
 - 主要部材の組立て施工が完了し、交付決定に関わる年度の3月31日までに現地確認が可能であること
 - 住宅に使用する構造材の70%（材積比）以上に県産木材を使用すること。ただし、山形の家づくり利子補給制度を併用する場合は、構造材の80%（材積比）以上
 - 一定の省エネルギー基準を満たすこと
- 補助金の上限／使用する県産木材の額とし、最大30万円
- 県内産木材の対象／「やまがたの木」認証制度により産地証明された木材、または「やまがた県産材合板」



POINT

- ①木材製品利用住宅建築奨励助成金と②県産認証材利用助成金は、町内業者が建築を施行した場合、併用することができます。
- 町内業者が建築を施工した場合→①・②併用で最大80万円を助成
- 町外業者が建築を施工した場合→②のみで最大30万円を助成
- ※さらに①、②は「山形の家づくり利子補給制度」とも併用が可能

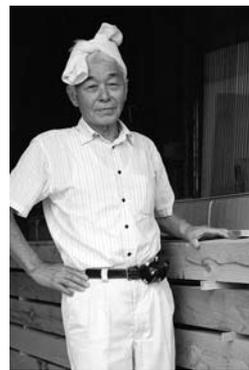
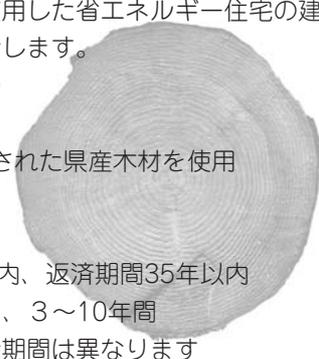
◆申請・問合せ先／役場産業振興課農林整備室
☎72-2111内線270・271・272

③山形の家づくり利子補給制度

耐久性・耐震性のある、県産木材を使用した省エネルギー住宅の建築に対し、その住宅ローンの利子を補給します。

- 対象建築物／下記の条件を満たすもの
 - 一定の耐久性基準を満たすこと
 - 「やまがたの木」認証制度などで認証された県産木材を使用
 - 一定の省エネルギー基準を満たすこと
 - 高効率給湯器などの設置
- 対象住宅ローン／融資額2,500万円以内、返済期間35年以内
- 利子補給率・補給期間／0.5%～1.0%、3～10年間
- ※住宅ローンの種類により補給率と補給期間は異なります

◆問合せ先／山形県県土整備部建築住宅課
☎023-630-2641・2154（直通）



なくなりまりました。また、その良さが見直され、市場に多く出回るようになりました。当社でも一時は輸入木材を使っていたころもありましたが、今は地場産木材を主に

使っています。ただし、さらなる地場産木材の普及のためには、大きな課題があります。それは県内に高次加工施設が少ないことです。製材された木材をさらに加工し、フローリング、壁材、パネルなどより高度な製品を作る施設です。岩手県では加工施設が多いため、地元木材を建築用材にとことん活用できていると言われています。

——自然嗜好から外装や内装に木をふんだんに使った家が人気を集めています。小池 木には温かみがあり、心を落ち着かせてくれる効果があります。また、湿度を一定に保つなど快適な居住空間を作ってくれます。そんな木特有の人への優しさが見直されているのではないのでしょうか。——家を建てようと考えている方へ知ってもらいたいことなどはありますか？

小池 大工は家を売るのが仕事ではなく、お客さまへ自分の研鑽してきた技術を売るのが仕事だと考えています。大手のハウスメーカーとは異なり、地元の工務店には、地場産木材のこだわりと、知識を備えています。家を1軒建てると、13の業種の方が関わるとされています。地元の大工さんに建築を頼むことで、地元にも経済効果があることも知ってもらいたいです。

人に優しい木材の家づくり

- ▲木材は調湿能力が高い
- ▲木材は衝撃をやわらげる
- ▲木材は紫外線を吸収する
- ▲木材はダニを抑制する

（置賜「地材地住」ネットワーク「置賜と暮らそう置賜木」より）



工場内では、ホイールローダーが原料となる大量のおが粉をペレット製造機械に流し込んでいた

現場取材
 ON-THE-SPOT COVERAGE

再生可能エネルギーを造る

飯豊町木質バイオマス製造施設(宇津沢)からレポート

化石燃料から森林資源にシフトできるか

環境意識の高まりの中で

ペレット製造機械が大きな音をたて、おが粉の粉塵が煙のように工場内に漂っていた。ベルトコンベヤーから出来たての木質ペレットが次々と流れ出てくる。

「含水率の調整が、ペレットの製造過程で最も難しい」と、中津川バイオマス株式会社と、中津川バイオマス株式会社の鈴木良則代表取締役は説明してくれた。

ペレットの含水率は7・8割が目安。多すぎればストーブ燃料として燃えにくく、少なければ固形化せずに崩れてしまう。水分調整はその日の気温、湿度にも左右される。

木質バイオマス製造施設は、平成21年11月に完成した。町の豊かな森林資源を活用し、木質ペレットとおが粉を生産・販売することで、地域の活性化と荒廃が進む森林の保全、資源循環型社会の形成を目的に町が建設した。

その運営を担うのが、中津川バイオマス(株)だ。

「中津川での木質ペレット製造と販売の計画は10年以上前から地元で議論されてきた。その経営の難しさは、当時から予測できていたこと」と鈴

木さんは打ち明ける。

平成22年度の木質ペレットの販売実績は、154ト。目標の400トの半分にも届かなかった。販売先は、町内と町外でおよそ半々。安定的に購入してくれるのは、地元の温泉施設・白川荘と高島町にある幼児施設。いずれもペレットボイラーを設置している施設だ。一般家庭への販売軒数は約50軒にとどまり、ペレットストーブ自体の広がりが見いだせていないのが実情だ。

一方のおが粉は、東日本大震災後、取引のあった顧客からの注文が止まり、一昨年度よりも実績を大幅に落としてしまった。「年間3000立方メートルの生産目標に見合った、大口の取引先を探したい」と鈴木さんは焦燥感を抱く。

くしくも、その東日本震災に端を発した原子力発電所の事故を受け、あらためてクリーンエネルギーに世間の注目が集まっている。

木質ペレットがクリーンエネルギーである理由は、次のように解されている。木質ペレットの燃焼で放出された二酸化炭素は、木の成長過程で光合成によって大気中から吸収した二酸化炭素であり、大

町が実施する ペレットストーブ 普及のための取り組み



①ペレットストーブ導入費用を助成

ペレットストーブを設置する方に対し、20万円を上限に導入費用を助成します。

- 対象者／下記の条件を満たす方
- 町内に自ら居住する住宅、または町内の事業所、農業用施設などにストーブを設置し、6年間以上使用が可能な方
- 町が実施するストーブおよび木質ペレットの使用に関する情報収集と調査に協力できる方
- そのほか、ペレットストーブの普及促進に協力できる方
- 補助金の上限／設置費用の½に相当する額で、20万円を限度とします
- 補助の対象／ストーブ本体・煙突などの付属品購入、取り付けに要する経費など。国産・外国産は問いません

②木質ペレット購入で商品券を還元

町内産木質ペレットを購入して商品券がもらえる、「木質ペレット版エコポイント事業」を利用ください。

- 内容／町内産木質ペレット1袋（750円）の購入につき15ポイントを進呈。10袋分150ポイントを貯めると、1,500円分の飯豊町商工会商品券と交換いたします
- ポイント収集方法／町内産木質ペレットの袋には15ポイント分のシールが貼られています。シールをはがし、指定のカードに貼ってポイントを集めます。カードは役場産業振興課で配布しています
- 商品券交換場所／飯豊町商工会
- 事業期間／平成24年3月31日まで



◆申請・問合せ先／役場産業振興課農林整備室
☎72-2111内線270・271・272



写真上／製造機械のベルトコンベヤーから出来上がったペレットが次々と流れ出てくる。ペレットの固さを左右する含水率に最も注意を払う 写真中／中津川バイオマス（株）の鈴木良則代表取締役。「経営を向上させ中津川の振興を担いたい」と話す 写真下／小浦孝男さん宅に設置しているペレットストーブ。燃料単価を比べながら、灯油ストーブと併用して使用しているという

気中の二酸化炭素の総量を増加させたことにはならないという考え方だ。

さらに人が森林に入り木を切ることで、そこから新しい木が育ち、生長した木をふたたび伐採して燃料として使う「森づくりの循環」が、自然の営みから半永久的に得られる再生可能エネルギーとしても位置づけられている。

高まりは、ペレットストーブの追い風になるはずだが、残念ながら急速な普及に結びついていない。

ペレットストーブは、灯油ストーブに比べて、着火スビードや扱いの手軽さなど不利な点が多いことが一因である。町では平成21年から、株式会社山本製作所（本社・天童市）、山形大学工学部との産学官連携の下、ペレットス

トーブの改良に着手してきた。いいで型ペレットストーブと称し、燃焼効率を向上させ、宅内に比較的容易に設置できるなどの改良を進め、年内の試作品完成を目指す。

さらに町は、木質ペレットの利用拡大と循環型社会の形成を目的に、役場庁舎にペレットボイラーを今年度中に導入する予定だ。

連の町の取り組みに期待を寄せる。しかし、行政に頼らず、各家庭や事業所などにその良さを宣伝・営業し、お客さまを獲得する努力が必要だ。エネルギー問題に注目が集まっているこのチャンスを逃してはならない。

経営の厳しさを覚悟の上でスタートした木質ペレット製造会社。今、その試練の時を迎えている。

user's voice ペレットストーブを使用して 小浦孝男さん(萩生)



平成17年に町の担当者に勧められ、ペレットストーブを自宅と自営の会社に2台導入しました。そのころはまだペレットストーブが始めで、性能や温かさなどに正直不満がありました。2年前の秋に2台とも新しい型のもので交換しましたが、格段と性能が向上し、不満はかなり解消されました。特に会社に設置しているのはペレットと薪の併用タイプ

で、薪は灯油に比べて単価が安く、火力が十分にあります。一方、自宅のものはペレット専用ストーブで、灯油と比べて単価のメリットがまだ少なく、灯油ストーブと併用しているのが実情です。

ユーザーとしては、修理やメンテナンスなどペレットストーブの専門知識と技術を持つ人が町内にいれば安心して使うことができると思います。



「中津川森と暮らしの学校」に掲げられている『森和人育』（森は人を育てる）の書。織田理事長が考案し、三森さんが筆を振った

専門家インタビュー
EXPERT INTERVIEW

森は人を育てる

全国森林インストラクター会副会長
 NPO法人「美しいやまがた森林活動支援センター」副理事長

三 森 和 裕 さん

(山形市在住)

Mitsumori Kazuhiro

学びたい、森と共存の術

山と共に生きてきた人には、森から恵みをいただく方法など森と共存する術を知っています。農山村の人口が減り続ける中、そのような知恵と技を引き継いでいこうというのが、私たちNPO法人「美しいやまがた森林活動支援センター」が旧小屋分校を再活用し開校した「中津川森と暮らしの学校」の目的です。若者に、経済性や利便性の追求だけでなく、自然を最大限に生かす「こんな生き方もあるんだ」と気付いてもらい、定住へのきっかけづくりになればと取り組んでいます。

中津川の人々が森と共に暮らしてきた一つの事例として、燃料林制度があります。中津川の下屋地出身である同法人の織田洋典理事長から聞いた話です。それは、雑木林を全世帯に分け隔てなく約4畝ずつ分け与え、それぞれが自由に使えるようにした制度です。山菜を採り、燃料の薪を得て、木材として木を伐採し、切った株から新しい芽が出て森が再生する。およそ40年間という、そんなサイクルの中で、人々は森から生活の糧を得る

基盤を持っていったのです。現在も形を変えながらもその考えは踏襲されています。

約3万年前の上屋地遺跡の時代から、現在の日本の民有林面積を誇る財産区という形態に至るまで、開発の波にさらされず、中津川の人々が見識を持って森を守ってきたのは評価されるべきことです。

今、人工林のスギが伐採時期を迎えています。うまく利用できない状況です。木材の積極的な利用と伐採後の山林をどのようにしていくのか、みんなで真剣に考えることが大事です。

エネルギーや二酸化炭素削減の問題を考えれば、森林の役割は将来ますます重要性を増すことが予測できます。これから山林に求められているのは100年後のビジョンです。森林資源を人々の生活にどのように生かすのか、そのためには誰が山に入って手入れしていくのか――。

難しいのは、人の育つスピードと木の育つスピードが違うことです。実際100年後に計画通りに森ができたとしても、その時代に適合しているのかわかりません。しかし、森の大切さはずっと変わ

森林の役割は将来ますます重要性を増す 求められるのは100年後の森のビジョン

らないはず。森林には人間の範疇には及ばない、再生能力があります。計画通りにいかなくとも、長い時間をかけて森は再生できます。失敗を恐れることなく、みんなでチャレンジすれば何が生まれる、そんな精神を森づくりに持ちたいものです。

「林業再生で雇用創出」という動きが出ています。まずは山林の所有者はもつともつと働きたい若者へ所有する山林を開放することが第一段階です。さらに下刈りや伐採などの管理作業だけでなく、若者には森林活用の企画にも積極的に参加させ、意欲的な職場にしていくことも大切です。

置賜地区には草木塔という素晴らしい文化があります。先人から受け継いだ森づくりの精神を将来にも忘れず持ち続けたいものです。



みつもり・かずひろ◎1952年11月生まれ。樹木医。山形県源流の森副館長を務めたほか、県内多数の自然公園の設計にも携わり、森林への造詣は深い。副理事長を務めるNPO法人「美しいやまがた森林活動支援センター」は、今年6月「中津川森と暮らしの学校」を開校し、活動の幅を広げている



私たちの心のDNA 草木塔

草木塔は置賜地方特有の石碑。日本でもまれな、樹霊信仰のシンボルである。建立の背景には、米沢藩の江戸上杉藩邸や城下の火災のため、復興に大量の樹木が切り倒され、また燃料となる薪の確保のため、多くの木が伐採されたことなどがあったと言われる。

分布は米沢藩領がほとんどで米沢市では大樽、小樽川流域、川西町では犬川、黒川流域、そして飯豊町は白川およびその支流域に多く存在する。

中津川には文政13（1830）年に小屋に建立されたのが始まりで、その後、江戸時代に広河原、岩倉、白川、宇津沢と5集落に建立。明治時代以降も建立は続き、明治は7基、大正時代は2基が建立されている。

草木塔には、自然の大切さや草木に対する慈しみの心が込められている。

NPO法人美しいやまがた森林活動支援センター 新聞部「中津川草木塔と美しいむら」から引用。写真は宇津沢地区の草木塔

取材を終えて

北極の白熊と飯豊の森林

あるドキュメンタリー番組で、北極の白熊が、氷の大地が溶け出し、行き場を失いたたずむ姿が映し出されていました。地球温暖化に対する警鐘番組です。脳裏に浮かんだのは飯豊の山々の姿。短絡化すれば、白熊の行く末を担うのは、北極から遠く離れた我々の森林だからです。

今回の取材を通し、衝撃的だったのは、京都議定書における温室効果ガス削減目標の半分以上を森林の力に頼るという事実でした。節電などの省エネ活動に重点を置かれがちですが、地球温暖化防止の絶対条件として元気な森林の維持があったのです。森林に頼らなければ、地球の将来は描けないのです。

では、その森林は果たして元気なのか――。取材をして残念ながらそう感じることはできませんでした。将来への不安も抱えています。森は人との関係を失い、明らかに元気をなくしていました。

一步森林に入ると、周りを羽虫がまわりつき、熊やへ

ビの生活圏であったりと必ずしも人を快く迎え入れてくれる場所ではないのかもしれない。しかし、日本人は自然との共生を重んじ、木を巧みに利用して生活と文化を創造してきた民族です。森林は身近な存在であり続けてきました。

森林を元気にするには、林業を活性化することが最も重要だと取材を通して感じました。林業の仕事に誇りを持ち、地元の木材にこだわる人たちの話を伺い、私たちにできることは、地元の森林資源の消費に積極的に貢献することだと結論に至っています。

「木を見て森を見ず」は、小さなことに心を奪われ、全体が見えていないことの例え。しかし今は、木も見て、森も見て、そして森林の将来も見据えなければなりません。



Fin.

国際森林年特集◎森林回帰終わり

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線225



町総合防災訓練

直下型大地震を想定して実施

8月28日、手ノ子小学校を会場に町総合防災訓練が行われました。目的は、災害発生時の防災体制を確認し、地域の防災意識の高揚を図ること。震度6強の直下型地震発生を想定して行われ、手ノ子、高峰地区住民や消防団、町内事業所など約460人が参加。地元消防団と自主防災会が連携しての救出・救助訓練など14種の訓練が行われました。また、応急給水訓練では、東日本大震災の被災地・宮城県南三陸町で、本町が実際に支援に当たった給水活動が再現されました。



山野草を活用した食産業・体験事業研修会

10月の全国サミットに向けて



8月5日は中津川地区公民館、翌日6日は東部地区公民館で山野草を活用した研修会が行われました。自生する山野草の知識と料理法を学ぼうと飲食店関係者など合わせて約40名が参加。NPO法人日本つみくさ研究会（東京都）の篠原準八理事長を講師に、クズの花を使った酢物や天ぷらなどを料理しました。本町を会場に、10月22日・23日に「全国山野草・つみく草料理町おこしサミット」が開催される予定です。

永年勤続優良社員表彰式・新規学卒就職者激励会

仕事の情熱が町の活気に



8月3日、町民総合センター「あ〜す」で、町と町商工会が主催し、永年勤続優良社員表彰式・新規学卒就職者激励会が行われました。町内事業所で働く18名の方に永年勤続優良社員表彰が、さらに今春より町内事業所に就職された24名の方には記念品が贈られました。あいさつに立った鈴木忠好商工会長は、「皆さんの仕事への情熱が、町の商工業の活気に結びついている」と出席者を労い、激励しました。



めざまの里かかし祭り

かかしも被災地にエール

8月20日、中部地区公民館で「めざまの里かかし祭り」が開かれました。地区内の自治会や子ども会などが作ったユニークなかかし16体が展示されました。中には、東日本大震災の被災地へのメッセージを添えたかかしや、ボランティアで働く人たちをモチーフにしたものなどがお目見えし、訪れた人たちの注目を集めていました。祭りでは、風船飛ばしやセグウェイ試乗会など多彩なイベントも繰り広げられ、終始、親子連れなどでにぎわっていました。

第23回添川温泉ふるさと祭り

踊って、地域から元気発信！



8月14日、しらさぎ荘駐車場を会場に「第23回添川温泉ふるさと祭り」が開かれました。メインの盆踊り大会では、浴衣や法被に身を包んだ踊り子が華やかな円を描く中、上代部落の有志の方々や東日本大震災復興の祈願を込めて“山の神”に扮し注目を集めていました。そのほか祭りでは、魚のつかみどり大会やさぎ草展などが行われ、多くのお客さまでにぎわい、思い思いに夏祭りを楽しんでいました。

「食彩しろつばき」初日開店

新鮮野菜で初日から大盛況



8月10日、白樺地区の有志が生産した農作物などを直売する「食彩しろつばき」が初日開店しました。いいで旅館の玄関を売り場に、スイカやトウモロコシ、トマトなど旬の野菜が所狭しと並べられました。開店と同時に次々とお客さまが訪れ、レジの前には長い列ができていました。出品に参加した後藤きみ子さん(椿)は、「今年は暑くて畑仕事は大変だったけど、売れるととってもうれしい」と話してくれました。



東日本大震災復興応援「西六郷少年少女合唱団コンサート」(あ～す)



第18回めざまの里川柳大会
(中部地区公民館)



お盆帰省者への町交通安全キャンペーン (めざまの里観光物産館)

菅野議会議長に聞く 町議会新体制スタート



8月8日に召集された臨時議会を皮切りに、飯豊町議会の新体制がスタートしました。どんな議会運営を図り、町の発展を目指すのか。菅野富士雄議長に抱負などを伺いました。

——議長に再任されての心境を聞かせてください。

菅野 議長を引き受けた理由は大きく2つあります。1つ目は、「開かれた議会」をはじめとする議会改革を推進すること。2つ目は、議員定数2名削減を決定した責任者として、議会の機能を低下させず、しっかりとした運営を果たさなければならぬという使命感です。

——前期4年間の議会を振り返っての感想は？

菅野 議会の傍聴や議会広報の発行だけではなく、議員が町民の皆さんと向き合い、議会の仕事と活動内容の周知に努めてきました。「出前委員会」や各地区公民館で開催した「町議会報告会」がその一例です。そういう意味では「開かれた議会」に一步前進したと考えますが、まだまだ説明不足などがあつたかも知れません。まずは60点という自己採点をし、努力が足りない部分をしっかりと認識して、今期に生かしたいと思います。——議員10名の新体制で議会がスタートしました。どのように運営していきたいと考えていますか？

菅野 議員数が減ったことで、

議員は今まで以上に複数の委員会に臨むことになり、当然、一人ひとりの仕事量は増えます。議員にはまず、その覚悟を持つてもらいたい。ただし、現在の委員会の体制で担うべき責務に支障をきたすようであれば、委員会自体を見直す必要もあります。

——町の抱える大きな課題は何だと認識していますか？

菅野 やはり人口減少です。出生と死亡による自然減少は全国的な課題ですが、他市町への流出による人口減少にはしっかりと対策が必要です。子育てや高齢者支援、除雪体制など「暮らしやすさ」の維持は、人口流出の歯止めには不可欠です。また、婚活については、出会いの場を置賜全体に広げるため、置賜議長会や置賜町村会を通して広域的な婚活事業の推進を提言してきました。

——人口対策も含め、効果的な政策実現のために、議会はどんな対応をしなければならぬと考えていますか？

菅野 後藤町長には民間感覚を生かしたリーダーシップが求められます。そのためには行政と議会の無駄な摩擦を避け、より良い政策が実現でき

the chairman of Iide town council interview

町民と行政が協働する町を 議会はその仲介役を目指す

飯豊町議会 議長

菅野富士雄

Kanno Fujio

かんの・ふじお◎1952年6月まれ。99年初当選を果たし、現在4期目。07年より議長に就任。今期も議員の選挙により議長に選出される。趣味はスキーと料理。スキーの腕前は、準指導員の資格を有し、子どもたちへ指導するほど。愛読書は地方議会情報誌。職業は農業。中在住



るように前向きな議論をしていかなければなりません。町民から付託された議員として、町民の利益にかなうか、しっかりと判断することが求められます。

——これからのまちづくりで大切なことは何でしょうか？

菅野 行政に要望するだけではなく、住民自らできることはいないか、追求する協働の姿勢も必要です。現在、本町で取り組んでいる「道普請事業」や第4次総合計画の「地区別計画策定合同ワークショップ」などは時代になつた事業だと認識していますし、他市町に比べても、まちづくりとして誇れるものだと思います。今後も町民と行政が目線の高さを合せ、まちづくりを進めるべきです。議会は、その仲介の役割を果たしたいと考えています。

——最後に今後の抱負を。

菅野 議会改革の推進を明文化するためにも議会基本条例の制定を目指したいです。さらに議会での政策決定の過程の説明責任を果たせるよう、要望があれば事業所や公民館分館など、よりきめ細やかな単位で議員が足を運び、説明会などを開いていきます。

※1【町議会の委員会体制】専門分野を討議する委員会は、総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会、広報常任委員会、議会運営委員会の4つからなり、5～7名の議員でその職務に当る。

※2【議会基本条例】北海道栗山町が、2006年、全国に先駆けて制定。質問するだけという地方議会のあり方を見直し、活発な論議を促すのが目的。一例として、議員間の自由討議や執行部側の反問権などを認めている。

山形県シニア選手権競技兼日本スポーツマスターズ・東北シニア山形県予選会優勝

鈴木健児さん(椿)



後藤町長から激励を受ける鈴木健児さん

6月28日、天童カントリークラブで開催された山形県シニア選手権競技兼日本スポーツマスターズゴルフ競技・東北シニア山形県予選会において、鈴木健児さん(椿)が優勝を果たしました。

競技は、18ホール合計スコアで競われ、鈴木さんは2位と4打差の差をつけ、合計72打の好成績で堂々の第1位。その結果、9月14日から石川県で開催される日本スポーツマスターズゴルフ競技に山形県代表選手として出場することが確定しました。

8月31日、鈴木さんは県大会優勝と全国大会出場のため後藤町長を訪問。「落ち着いた普段通りのプレーができるようがんばりたい」と鈴木さんが意気込みを述べると、後藤町長は「全国大会出場は、町の誇り。その経験を町内の後継プレイヤー育成に活かしてもらいたい」と期待を伝えました。

J P S展、二科会写真部展入選 作品は全国有名美術館を巡回 横山哲夫さん(小白川)

横山哲夫さん(小白川)の写真作品が、このほど開催されたJ P S(社団法人日本写真家協会)展、二科会写真部展で共に入選しました。

J P S展は、全国から2,447名が7,475点を応募。そのうちの入賞・入選者数は302名で、山形県の入選者は、横山さんただ一人でした。一方、二科会写真部展には3,481人、18,107点の応募があり、入選者数は1,069名。県内からの入賞・入選者数は81名でした。

出品した作品はいずれも、独特の背景と構図で人物を捉えたポートレート(肖像写真)。

「J P Sはプロ写真家で組織する団体で、とてもレベルの高いフォトコンテスト。東京都で開かれた表彰式に出席しましたが、プロ・アマ問わず写真を愛する人たちと情報交換ができて、とても良い刺激になりました」と横山さんは全国規模の写真展に臨んだ手ごたえを話してくださいました。

J P S展の入賞・入選作品は、5月から9月にかけて、東京都写真美術館や愛知県立美術館など全国4都市の有名美術館を巡回。二科会写真部展は9月13日まで国立新美術館で作品が展示されます。



「白日夢」

J P S展入選作品・ポートレート
※本作品はカラー写真です



「冬日」

二科会写真部展入選作品・ポートレート
※本作品はカラー写真です

直伝おふくろの味



高野豆腐が驚きのもちもち食感に 高野豆腐の揚げ煮

【材料】（4人分）

◇高野豆腐	4枚
◇水	250cc
◇薄口しょう油	80cc
◇砂糖	50g
◇みりん	大さじ1杯
◇片栗粉	大さじ5杯
◇アスパラガス	適宜
◇揚げ油	適宜

【作り方】

- ① 水、しょう油、砂糖、みりんを鍋に入れて煮立てておく。
- ② 高野豆腐は1時間程度水に浸してもどした後、水気をよく切り、4等分にする。
- ③ ②に片栗粉をよくまぶし、多めの油でこんがりきつね色になるまで揚げろ。
- ④ ①の鍋に③を入れ、中火で10分間程度煮て、とろみが付いてきたら火を止める。
- ⑤ 茹でたアスパラガスを④に飾って出上がり。

高野豆腐が苦手な人も おいしく食べられる一品です



樺地区
食生活改善推進員
船山清菜さん

義母の料理のお手伝いを通じて覚え
た一品です。私自身、高野豆腐はあま
り好きではなかったのですが、この料
理を食べたときから大好きになり、我
が家の定番料理となりました。

高野豆腐は、スポンジを噛んでいる
ような独特の食感があるため、苦手な
方が多いと思います。この料理は高野
豆腐とは思えないもちもちした食感が
魅力で、子どもからお年寄りの方まで
おいしく食べられます。

作り方④では、底の広い鍋を使うこ
とで、焦がさず満遍なく高野豆腐に
タレを絡ませることが出来ます。

上に飾る野菜は旬のものだと何でも
合います。また、高野豆腐に刻んだ干
しシイタケや挽肉などを挟み込めば、
さらにアレンジは広がります。



こどもみらい館の予定表
(9月・10月の日程)

会場／☆印は「あ～す」
ほかは「こどもみらい館」

- 9月9日(金) 10:00～ タッチケア
- 14日(水) 10:30～ あそびの広場
- 16日(金) 10:00～ 夢きらら元気っ子広場 ☆
- 21日(水) 10:30～ かんがるー広場
- 28日(水) 10:00～ 親子エクササイズ教室
- 10月1日(土) 10:30～ ブックスタート
- 5日(水) 10:30～ おはなし広場
- 6日(木) 10:00～ 親子エクササイズ教室
- 7日(金) 10:30～ 避難訓練
- 12日(水) 10:30～ あそびの広場
- 13日(木) 10:00～ 親子エクササイズ教室
- 14日(金) 10:30～ 栄養士さんの指導 ※要予約

episode

子育て応援
kosodate
ouendan 談

お祭り子どもたち

「家庭では学べないことも」

夏から秋にかけては祭りの季節。ドドンコ、ドドンコと太鼓や笛の音。わが地区でも10月に「子ども祭り」がある。馴染みのお囃子が流れると、子どもの目は輝き、早くも獅子舞のやりたい役に夢中になる。昨今、近所の子ども同士で遊ぶ機会が減り、「ガキ大将」という言葉は死語に近くなってしまった。年上の子の言うことを聞き、真似をし、順番や物の貸し借りなどのルールを学び、兄弟とは違った緊張感のある上下関係が育つもの。

大人顔負けの獅子舞が、今年もきっと繰り広げられるだろう。先輩から受け継いだ頼もしく、たくましい姿を真似て。地域での経験から得る人間関係は、決して家庭だけでは教えきれないもの。子どものころ培った交流は、大人になっても、ずっとつながって、広がっていくだろう。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日／火曜日から土曜日 休館日／月曜日、日曜日、祝祭日
利用時間／8:30～12:00、13:00～17:00



今月の
おすすめ図書

一般図書



「アトピーっ子も安心の毎日ごはん和食で体質改善」

渡辺雅美／著 佐藤美津子／監修
家の光協会

大きなおかず、小さなおかず、ごはん、お汁など、それぞれの料理を選んで組み合わせるだけでバランスのとれた献立ができる。アトピーっ子も安心の和食レシピを紹介する。

児童図書



「おつきさま、こんばんは！」

市川里美／作 講談社

日本人形、マトリョーシカ、テディベア…。みんなが寝静まったころ、おつきさまのやさしい光で目覚めた人形たち。それぞれがおつきさまとの思い出を語りはじめます。

一般図書



「黄泉から来た女」

内田康夫／著 新潮社

鶴岡市で発見された白骨死体。天橋立で「アマテラスの子」と呼ばれる静香。彼女の母が捨てた故郷・鶴岡から謎の女が訪ねてくる。時を越えた女たちの因縁が、浅見光彦の推理を妨げる。

児童図書



「パンダもの知り大図鑑 飼育からわかるパンダの科学」

倉持浩／著 誠文堂新光社

上野動物園のパンダ飼育係が、パンダの生活や行動をはじめ、パンダ舎の日常と今年、中国からやってきたリーリーとシンシンなどについて豊富な写真とともに解説します。

●開館時間 午前9時～午後6時 (5月～10月)
※土・日曜日は午前9時～午後5時まで

●休館日 毎週月曜日・祝日

●問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



音楽愛好団体

ゆりコーラス

- ◆指導者／小松伸子さん(長井市)
- ◆メンバー／10名
- ◆活動日時／毎月第2・第4木曜日
10:00~11:30
- ◆活動場所／町民総合センター「あ〜す」

●ゆりコーラスへの入会などのお問い合わせは、小松伸子さんまで☎84-6398

◆メンバー募集対象／経験・年齢・住所を問わず、歌が好きな女性の方

◆ピーアール

ゆりコーラスは、歌好き、お話し好きの女性たちが集まった音楽愛好会。メンバーが集まれば、部屋の中はたちまち笑い声でいっぱいになります。指先や体をほぐしてのストレッチを取り入れた発声練習から始まり、いざ歌を歌えば、みんなの顔はさらにいきいきしてきます。「生涯現役」であるためには元気が一番。ここにくれば歌と会話を楽しみ、みんな笑顔になれます」とメンバーの島貴庸子さん。歌を通した仲間づくりと交流がゆりコーラスの原点です。



メンバーの島貴庸子さんにとって歌とは…

心の贅沢を味わい、
みんながステキな笑顔に

◀島貴庸子さん

「閑さや岩にしみ入る蝉の声」の句は芭蕉が山寺立石寺で詠んだ『奥の細道』の有名な句である。このセミの種類は何か。歌人の間ではニイゼミだろうということになっているらしい。ニイゼミはジューシーと鳴く。そうかなあ。カナカナと鳴くヒグラシの方がふさわしいのではないか。ヒグラシは、林の冷気を奏できるように哀愁を込めて鳴く。

夏の盛りが過ぎ九月ともなると夕方の光はもう秋の気配である。夕日が西の空に沈む頃はチロチロと草むらの鈴虫が鳴く。
それでも、朝日が昇り明るくなれば、行き去る季節を惜しむかのようにセミの声があちこちから聞こえてくる。数日前、ミンミンミンという鳴き声に惹かれそつと近づきその姿を玄関の破風板に見つけて驚いた。みどり色がかった頭に透明の羽、あれ、これがミンミンゼミであったか。すっかりアブラゼミと取り違えてしまっていた。なんと六十年間も勘違いをしていたことになる。勝手な思い込みは要注意だ。

「閑さや岩にしみ入る蝉の声」の句は芭蕉が山寺立石寺で詠んだ『奥の細道』の有名な句である。このセミの種類は何か。歌人の間ではニイゼミだろうということになっているらしい。ニイゼミはジューシーと鳴く。そうかなあ。カナカナと鳴くヒグラシの方がふさわしいのではないか。ヒグラシは、林の冷気を奏できるように哀愁を込めて鳴く。

初夏から現れるのに、季語は秋である。その鳴き声はどことなく物悲しく聞こえるから秋に分類された。秋は実りのときである。稲も果物も木の実は一挙に結実する。収穫の秋は喜びの季節である。ところが、開放的な夏が終わり辺りが茜色に染まり始めると、誰もが感傷的になることが多い。冬の訪れを予感させるからだろうか。
感傷を吹き飛ばして元気を奮い立たせなければならぬ。
震災からの復旧復興、財源確保と社会保障改革、円高にデフレ対策、地域主権改革など課題山積のなかに新内閣が発足した。金魚ではなく泥臭いどじょうの持ち味で行きたいという野田新総理の発言に感心した。泥にまみれてもしぶとくたくましくとの姿勢には共感する。
そういえば夏を謳歌したセミだって何年も土の中で過ごす。暗い土の中で蓄えたパワーで新しい世界を切り拓く、そんな心意気をセミとどじょうに見習いたいものだ。

「セミとどじょう」

連載
随想
町長の思ひ歩き

28

後藤 幸平

健康

ikiiki

いきいき

健康福祉課健康医療室 TEL.86-2338

Karte ④

脳卒中予防10カ条 その3

お食事の塩分・脂肪 控え目に

health column

このコーナーでは、健康に関する身近なテーマを取り上げ、町民の皆さんが今すぐできる健康づくりを提言します。

脂肪・塩分の取り過ぎ注意！

現代日本人の食生活は、「高エネルギー・低栄養」と言われ、バランスが悪く、生活習慣病の背景となっています。高エネルギーとはすなわち、脂肪の取り過ぎです。総摂取エネルギーは人によって異なりますが、2000キロカロンの人の場合、脂肪から摂取するのは400〜500キロカロリー(20〜25%)に抑えるのが理想とされています。ところが、厚生労働省の平成21年国民健康・栄養調査によれば、成人で脂肪エネルギー比率が30%を超えている人の割合は、男性が2割、女性では約3割という結果が報告されました。脂肪は、糖質やたんぱく質に比べて多くのエネルギーを発生させるので、過剰摂取は肥満を招く原因となります。取り過ぎは脂肪だけではなく、塩分摂取によれば、塩分摂取量は、成人平均で1日10.7g、男性は11.6g、女性は9.9gとなつています。望ましい塩分摂取量は、男性9.0g、女性7.5gです。ですから、男女ともに2g以上過剰に取っていることがわかります。塩分の取り過ぎは、高血圧を招くことにつながります。

大切な働きをする野菜の栄養

一方で野菜の摂取量の不足が指

摘されています。野菜の1日の摂取目標は成人で350g、9歳以上は300gとされていますが、同調査によれば、成人の平均で295.3gで、どの年代も目標量を超えていないのが実状です。

野菜は、身体の代謝、免疫、抗酸化作用などを活性化させたり、組織をつくるビタミンやミネラルの大切な供給源です。野菜の摂取量が不足すると、カルシウム・鉄・マグネシウム・葉酸などが欠乏し、体調を崩すことにつながります。

バランスの良い食事とは

一番大切なのは、1日3回の食事を欠かさず食べることです。食べ方は、主食(ご飯やパン、麺)に一汁二菜を基本とし、汁物が一つ、主菜(肉・魚・卵・大豆製品がメインの料理)が一皿、副菜(野菜・海藻・いも類・きのこ類が入っている料理)が一皿です。塩分を控えるために、汁物は毎回食わずに、副菜に変えて食べるようにしましょう。果物と乳製品を間食などで補えば、一日に必要な栄養素を万遍なく取ることが出来ます。調理方法にも注意が必要です。夏野菜は油で揚げたり、漬物にしたりしがちですが、脂肪・塩分の取り過ぎにつながります。時には、煮たり、蒸したりする調理方法も取り入れるようにしましょう。

バランスの良い食事の参考に

食品に含まれる塩分量

- そうめん(乾めん)
1食100g中… 1.9g(めんのみ)
- ウィンナー
1本25g中… 0.5g
- 梅干
中1個10g中… 2.2g
- のり佃煮
大さじ1杯15g中… 0.8g
- ポテトチップス
1袋80g中… 1.0g

脂質に注意したい食品

- 衣のついたフライや天ぷら
衣を半分残してカロリーダウンを！
- マヨネーズ、タルタルソース
大さじ1杯で約100kcalの高カロリー
- バター・マーガリン
市販の個包装で約60kcal
- 落花生やアーモンドなどのナッツ類
高カロリーの代表格
- 料理に使う油
煮物や炒め物にも注意が必要



成人が1日に必要な野菜の量は350g。手のひらいっぱいになる

飯豊町役場

電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

**無料調停相談
のご案内**

- ◆小国会場
◇日時／10月7日(金) 10:00～15:00
◇会場／おぐに総合開発センター
- ◆長井会場
◇日時／11月15日(火) 10:00～15:00
◇会場／小桜館(長井税務署北隣り)
- ◆相談内容／金銭の貸借・多重債務・交通事故など民事関係全般、夫婦・男女間・遺産相続など家事関係全般
- ◆相談料／無料
- ◆その他／相談内容の秘密厳守します
- ◆問合せ先／長井調停協会(長井簡易裁判所内) ☎88-2073

**司法書士による
全国一斉成年後見相談会**

- 一人暮らしの高齢者をねらった詐欺商法が後を絶ちません。成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方々が、財産侵害を受けたり、人間としての尊厳を損なわれたいりしないように、法律面や生活面で保護支援する身近な制度です。
- ◆日時／9月19日(月祝) 10:00～16:00
 - ◆対象／ご本人または養護者の方など
 - ◆相談方法／面談および電話
 - ◆面談場所／司法書士会館(山形市)
 - ◆相談電話番号
☎023-615-0557(当日のみ)
 - ◆相談例／○一人暮らしの今後の不安
○遺産分割協議をしたいけれど、相続人の一人が認知症 ○知的障がいを持つ子どもの将来が不安など
 - ◆相談料／無料
 - ◆予約／不要
 - ◆問合せ先／山形県司法書士会
☎023-623-7054

**小桜錬心会
出前剣道教室のお知らせ**

- 西置賜地区内の小学生と一緒に剣道をしてみませんか。見学だけでも可能です。
- ◆練習日／9月17日、10月1日、8日、15日(いずれも土曜日)
 - ◆時間／9:00～11:30
 - ◆場所／町民スポーツセンター剣道場(飯豊中体育館下)
 - ◆参加料／無料
 - ◆持ち物／タオルと飲み物
※体験時の竹刀などは主催者で準備します
 - ◆その他／事前の申し込みは不要ですので、気軽にお越しください
 - ◆問合せ先／小桜剣道後援会・斎藤 ☎080-5379-5251

**山形県立保健医療大学
公開講座のご案内**

- 県立保健医療大学では「考えよう！健康と福祉」をテーマに、県民のための公開講座を開催します。
- ◆日時／10月15日(土) 13:00～16:00
 - ◆会場／伝国の杜(米沢市)
 - ◆講義内容／○健康づくりの話～寝たきりにならないための生活習慣～
○介護予防について考える～介護予防体操の開発を通して～
 - ◆受講料／無料
 - ◆対象／県民一般(定員100名)
 - ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
 - ◆申込締切／9月30日(金)まで
 - ◆その他／○受講者には修了証書を交付します ○会場には託児サービスを準備します
 - ◆問合せ先／山形県立保健医療大学附属図書館 ☎023-686-6671

**救急フォーラム置賜2011
のご案内**

- 基調講演などを通して、救急医療について一緒に考えるフォーラムです。
- ◆日時／10月8日(土) 13:00～
 - ◆会場／町民総合センター「あ～す」
 - ◆内容／○防災ヘリ「もがみ」搭乗訓練 ○東日本大震災に関する講演 ○消防職員の寸劇 ○救急講習ほか
 - ◆参加料／無料
 - ◆問合せ先／置賜保健所保健企画課 ☎0238-22-3872

**おきたま森の感謝祭2011
のご案内**

- ◆日時／10月1日(土) 10:00～13:00
- ◆会場／白鷹町営スキー場
- ◆内容／○枝打ち・丸太切り・木工クラフト・森林トレッキングなどチャレンジコーナー ○機械による玉切り・枝打ち実演 ○木製品展示 ○振る舞いナメコ汁ほか
- ◆参加料／無料
- ◆その他／森林トレッキングのみ事前の予約が必要です
- ◆問合せ先／置賜総合支庁森林整備課 ☎0238-35-9053

**山形聾学校
学校公開のご案内**

- ◆日時／10月4日(火) 9:30～12:30
- ◆内容／○授業参観 ○きこえについて研修会
- ◆参加方法／電話・FAX(氏名・連絡先を明記)にて申し込みください
- ◆その他／詳細は学校のホームページをご覧ください
- ◆申込・問合せ先／山形県山形聾学校特別支援室 ☎023-688-2316
FAX023-688-2841

こせきのまど
戸籍の窓

(8月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(黒 沢 小 松 恭 平さん 萩 生 長谷部 梨 佳さん)	

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
黒沢 佐藤 陽 菜ちゃん	(昭 光 真 由美)	
添川 伊藤 海 偉くん	(友 洋 知 佳子)	
添川 安 仲 翔 くん	(智 浩 絵 美)	
萩生 樋口 桃 佳ちゃん	(康 紀 さ なえ)	
萩生 堀 陽 葵ちゃん	(之 洋 直 美)	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
椿 辻 高岡 や 忍さん		88
椿 小原 坂 爪 昇 さん		61
萩生 中ノ浦 後藤 江 子さん		88
萩生 中ノ浦 後藤 はる 忍さん		86
手ノ子 向原 大河原 を ねさん		79
萩生 町西 小笠原 よ しさん		103
椿 椿第一 佐藤 巖 さん		82
椿 駅前 須藤 きく 忍さん		97
添川 金田 い ちさん		91
小白川 中郷 小 山 初 江さん		96
白川 鈴木 鶴 弥さん		91
萩生 石原 伊藤 忠 一さん		85
松原 富 永 藤 夫さん		84

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

8月分 () 内は対前月比				
世帯数	2,383 (2)	転入	18	
人	男	3,925 (3)	転出	16
	女	4,158 (-9)	出生	5
口	計	8,083 (-6)	死亡	13

おきたま環状線
レールロードフォーラム

- ◆日時／9月23日(金) 14:00~17:00
- ◆会場／川西町農村環境改善センター
- ◆内容
 - 基調講演「逆境を活性化に変える力、教えます」 NPO法人「えがおつなげて」 曾根原久司理事長
 - パネルディスカッション
- ◆入場料／無料
- ◆問合せ先／羽前小松駅

☎0238-42-2533

わくわくぐりぐら広場
のご案内

- お話好きの子どもたち集まれ～！
「わくわくぐりぐら広場」が始まるよ。
- ◆日時／9月25日(日) 10:30~11:30
 - ◆会場／こどもみらい館
 - ◆内容
 - お話を聞こう！絵本・紙芝居の読み聞かせ
 - 作って遊ぼう！折り紙を取り入れた工作
 - ◆参加費／無料
 - ◆対象／おおむね3歳から小学3年の児童とその保護者
 - ※小学生は子どもだけでも参加可
 - ◆申込締切／9月21日(水)まで
 - ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
 - ◆問合せ先／町民総合センター「あ〜す」 ☎72-3111

【お詫びと訂正】8月25日発行の「広報いいでお知らせ版」に掲載しました白川土地改良区職員募集について誤りがありました。受験資格の「①昭和62年4月2日以降に生まれた方」は、「①昭和61年4月2日以降に生まれた方」が正しいものでした。お詫びして訂正いたします。

ご存知ですか
山形県救急電話相談

夜間の急な病気への対応について看護師が電話で相談に応じる「救急電話相談」を実施しています。発熱にどう対応するとよいか、病院に行く必要があるのかなど、医療機関を受診する前に活用ください。

- ◆相談日／毎日
- ◆相談時間／19:00~22:00
- ◆大人の救急電話相談 (15歳以上)
 - ☎#8500または☎023-633-0799
- ◆小児の救急電話相談 (15歳未満)
 - ☎#8000または☎023-633-0299
- ◆問合せ先／山形県健康福祉部地域医療対策課 ☎023-630-3366

学生と若者のための
就職面接会inおきたま

- ◆日時／10月11日(火) 13:30~16:00
- ◆会場／グランドホクヨウ(米沢市)
- ◆参加対象企業／ハローワーク米沢・長井管内に本社または就業場所があつて求人票(学卒求人、一般)を提出している企業約50社を予定
- ◆参加対象者
 - 平成24年3月大学など卒業予定者(既卒3年以内の者を含む)
 - 概ね40歳未満の若年者
- ◆参加料／無料
- ◆問合せ先／ハローワーク長井 ☎84-8609

副町長の退任について

一身上の事情により、8月31日付けで後藤博信副町長が退任されましたので、町民の皆様へお知らせいたします。

◇暑さも一段落。皆さんの家庭では、どんな工夫でこの夏の「電力危機」を乗り切ったでしょうか？ 製造業の事業所では、決してラインを止めまいと、涙ぐましい努力をされたところもあると聞いています。▽山の林業現場の人たちもまた、玉の汗を流して働いていました。私が話を伺おうとすると、作業員の樋口勝典さんが仕事の手を止め、樹林に招き入れてくれました。そして、「涼しいだろう」とにっこり。日向との気温差に驚きつつも、木陰の涼風が頬を撫ぜると、下界の喧騒を忘れそうになりました。(横山)



子どもたちの力強い獅子舞が会場を盛り上げた



祭りのテーマは「希望」 復興への願いを祭りに込めて

いいで
“めざみの里”まつり

Sido Mezami no Sato Festival

2011.9.3 町民総合センター「あ～す」

9月3日、いいで、めざみの里。まつりが、町民総合センター「あ～す」で開かれた。今年のテーマは「希望」。東日本大震災からの一日も早い復興への願いを込めた。今年子どもたちが大活躍の園児が「ちびっこ獅子」を披露。カメラを持った大勢の観客が見守る中、愛嬌たっぷりに舞を披露し、会場を和ませた。夜の部では、石現文殊

尊堂（萩生）と小白川神社獅子連の子ども獅子が競演。力強い獅子舞で観衆を魅了し、祭りのメインを飾った。音楽イベントもふんだんに盛り込まれ、テレビなどで活躍の日向理さん・岡野綾さんを迎えたファミリーコンサートや町少年少女合唱団、ヒッポホップダンスサークル、サックス四重奏、民俗打楽器の演奏や踊りなど、屋内外の会場は一日中、多彩な音楽に

溢れた。恒例のW.A踊りは、町内外から30団体、1254人が参加。参加者はおそろいの浴衣や、趣向を凝らしたコスチュームに身を包み、元気いっぱい踊りを繰り広げ、町のにぎわいを印象付けた。祭りを締めくくったのは、奥州相馬馬鬘太鼓協友会（南相馬市）による太鼓と民謡の演奏だった。会長の渡邊秀一さんは、原子力発電所の事故

を受けて家族と共に飯豊少年自然の家へ一次避難し、現在は米沢市で避難生活を送っている。震災により全国に散らばった仲間が、この日のため本町に集い、望郷の念と復興への熱い思いを込めて演奏。その響きは、会場中に感動を与えた。また、会場には被災地への義援金箱が設置され、一日で2万3998円の善意が寄せられた。



奥州相馬馬鬘太鼓協友会の太鼓と民謡



多くの親子連れでにぎわったファミリーコンサート



5つの幼児施設がそれぞれ「ちびっこ獅子」を披露



困難な時代に 立ち向かう決意

時代は昭和から平成へ――。
そんな変遷期に生まれた若者が、
成人の門出を迎え、共に喜びをわかち、
そして大人としての自覚をかみ締めた。

来賓の祝辞にしっかりと
耳を傾ける新成人。式は
おごそかに行われた



平成23年度成人式



8月15日、町民総合センター「あす」で、平成23年度成人式が行われた。今年度の成人者数は昨年度より26名少ない72名。そのうち64名が式に出席し、新成人の門出を共に祝った。

式典であいさつした後藤町長は、社会という共同体の中で助け合う心、人生の中でいばらの道を選択する勇氣、夢を抱き続けることの大切さなどを説き、新成人へはなむけの言葉とした。さらに「町のにぎわい再現のためには、皆さんのような若い力が必要」と語気を強め、町への定住を呼びかけた。

新成人を代表して樋口悟さん（埼玉県越谷市・萩生出身）が、壇上で決意を宣誓。「待ち受ける困難に対し、助け合える仲間
の存在を忘れず、この地で培った力を発揮します。生まれ育った飯豊町への最大限の愛と向上心を持ち続け、精進していきま
す」と力強く誓った。

式中、私語は一切なく、新成人たちが凛として来賓の祝辞に耳を傾ける姿勢が印象的だった。式典終了後、農家レストランエルベで成人式実行委員会が主催するパーティーが開かれた。若者たちはお酒を交わしながら、思い出話や将来の夢など、時の経つのを忘れ語り合っていた。

VOICE 新成人の声



山口 廣紀さん
(高畠町在住・中出身)

選挙権を得て、社会人の責任を実感しています。1つ1つの行動に気を付け、社会に役立つようがんばります。



二瓶 愛さん
(小白川)

自分が納得できる仕事に就くことが今の目標です。ここまで育ててくださった両親に心から感謝しています。



江口 幸大さん
(添川)

やっと大人の仲間入りができたというのが20歳の感想です。今の仕事で早く一人前になることが目標です。

playback 新成人の生まれた年(1990.4.2—1991.4.1)

- ◆出来事／東西ドイツが統一(90年10月3日)、天皇陛下が即位(11月2日)、ベルリンの壁崩壊(11月9日)、松下電器産業が、米大手映画・娯楽会社MCAを買収(11月26日)、湾岸戦争勃発(91年1月6日)
- ◆世相・流行／アッシーくん、おやじギャル、盛田昭夫・石原慎太郎『「NO」と言える日本』

文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真／8月14日に行われた「念仏踊り」の様子。場所は大福寺境内にて

Treasures in Iide Town

12

selection

椿念仏踊り

昭和53年度町無形民俗文化財指定

Interview

守り続ける人たち



椿念仏踊り保存会会長

小松 茂雄さん
(椿)

保存会の努力が実り、地元若者が参加

元々、椿念仏踊りは、20歳～30歳代の男性が女装し踊るものでした。白椿地区公民館から椿駅まで踊って練り歩き、多くの見物客でにぎわったものです。しかし、時代の変化とともに参加する若者が減り、存続が危ぶまれました。保存会では15年ほど前から参加対象を子どもたちにも広げ、継承していくことを試みました。踊りを指導し、小学校の協力を得て運動会で発表するなどし、地域の方にも感心を持ってもらうよう努めました。

一昨年前から椿青年会の有志10名が踊りに参加し、協力してくれています。小学校時代に指導を受けた子どもたちが、今こうして大人になり、伝統を継承してくれるのはとても頼もしく、うれしく思います。

解説

椿念仏踊り

椿念仏踊りの起源は、享保5年(1720年)に椿大福寺境内の薬師堂再造営を機に始められたと伝えられている。年号的にはっきりしているのは、太鼓の裏皮に書かれた「嘉永3年(1850年)」の文字のみで、そのほかの文献などは大福寺の火災などで現存していない。

椿念仏踊りの特徴は、本来、未来利益の仏である阿弥陀信仰が、現在利益の仏である薬師信仰に結びつき、その踊りの意味する形を変えることなく現在に伝承されたところにある。

現在に至るまで、太平洋戦争中の一時中断や、終戦直後に豊年踊りと名を変えるなど様々なことがあった。

椿念仏踊りは、昭和53年4月、町の無形民俗文化財に指定された。